

○ 美幌小学校

- ・ 職員自己評価について
- ・ 児童アンケートについて
- ・ 保護者アンケートについて
- ・ 学校関係者評価について

学校評価の結果と方向性

学校改善のねらいとして実施しました今年度の学校評価の結果と方向性について、保護者や地域の皆様に公表いたします。各資料に目を通していただき、ご意見や感想等をお寄せいただければ幸いです。

次年度におきましても、本校の教育活動に対しまして、ご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

学校評価

1 職員自己評価について

P 1～3

学校全教職員が参加し、設定した項目に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さなどについての評価の結果とその分析と考察、改善の方向性についてお知らせします。

2 児童アンケートについて

P 4

児童へのアンケートの集計結果とその分析や改善の方向性についてお知らせします。

3 保護者アンケートについて

P 5～9

保護者の皆様へのアンケートの集計結果と、教職員で検討した学校としての回答(方向性)をお知らせします。

4 学校関係者評価について

P 10

職員自己評価と保護者及び児童アンケートの結果を学校評議員の方々にご説明し、いただいたご意見のまとめをお知らせします。

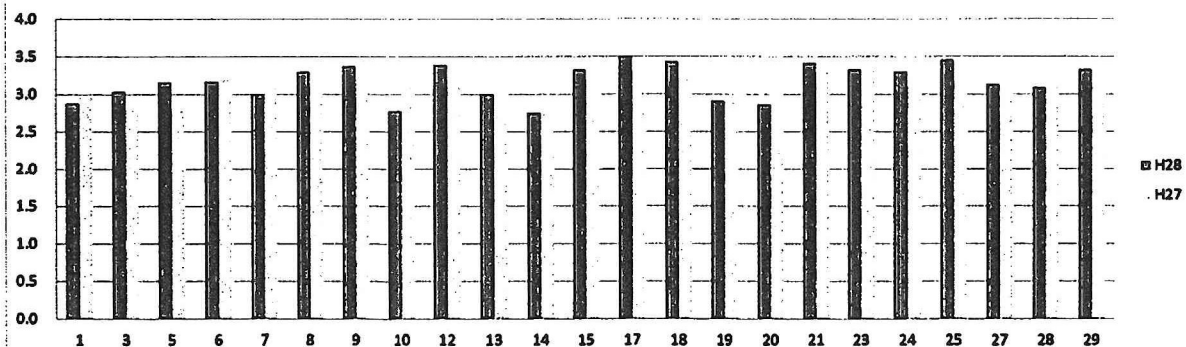
職員自己評価(職員用)

1 集計結果
(1)一覧

領域	№	評 価 の 観 点	H28	H27	H26	H25
教 育 目 的	1	学校の教育目標「できることいっぱいみつけよう～自立する拍っ子～」を意識した教育活動を実践しましたか。	2.9	3.0	2.9	2.9
	3	本年度の重点「あいさつ、やさしさ、しんけん、たくましく、それが拍っ子！」を意識した教育活動を実践しましたか。	3.0	2.8	2.8	2.9
学 校 経 営	5	子どもの個性や能力の伸長のため、組織的に進める学校経営に参画しましたか。	3.2	2.8	3.0	3.0
	6	授業研究を中核に据えた研修活動に取り組みましたか。	3.2	3.2	3.0	3.0
	7	学習指導、生徒指導、給食指導、清掃指導など、学校全体や学年で共通認識をもった指導を行いましたか。	3.0	3.1	3.2	2.9
教 育 課 程	8	学校の指導計画は授業を行うのに役に立っていますか。	3.3	3.1	3.4	3.1
	9	教育課程や指導計画の内容に、学校の教育目標を達成する意図が表れていますか。	3.4	3.2	3.5	3.3
	10	学校の指導計画の改善は共通理解をもって、組織的に行われていると思いますか。	2.8	3.1	2.9	2.9
学 習 指 導	12	学校全体で組織的に進めている基礎・基本の定着を目指した学習指導の工夫に努めましたか。	3.4	3.1	3.1	3.0
	13	児童の興味・関心を高め、見通しを持たせた、まとめ、振り返りを行う学習過程の工夫に配慮しましたか。	3.0	3.2	3.1	3.0
	14	板書の工夫やノート指導の徹底を手立てとした授業づくりに努めましたか。	2.8	2.9	3.1	3.2
	15	家庭学習や読書習慣など、学習習慣の定着を目指した取組を進めましたか。	3.3	3.2	3.1	3.2
生 徒 指 導	17	一人一人の児童の実態に応じた生徒指導を日常的に行いましたか。	3.5	3.3	3.2	3.1
	18	学年で連携すべき内容については情報を共有して生徒指導に当たりましたか。	3.4	3.2	3.4	3.2
	19	学校全体で取り組むべき内容については、教育相談コーディネーターや問題検討委員会を活用するなど組織的な取組になるように努めましたか。	2.9	2.9	2.8	2.9
	20	校外生活指導については、担任による指導をはじめ必要に応じて学年間及び全職員による組織的な指導を行いましたか。	2.9	3.1	3.0	2.9
	21	必要に応じて保護者や関係機関と連携・協力しながら指導が行われていますか。	3.4	3.3	3.2	3.3
安 全 管 理	23	日常的な安全指導を学級等で行いましたか。	3.3	3.4	3.4	3.3
	24	交通安全街頭指導や巡回指導などを通して、組織的に安全指導が行われていますか。	3.3	3.1	2.9	3.2
	25	月1回の校舎内外点検をはじめ、日常的に担当教室等の安全管理を行いましたか。	3.5	3.2	3.4	3.1
通 特 級 別 支 援 教 育 ・ 言 語	27	校内サポート会議は、支援を要する児童の様子など情報を交流する場となっていますか。	3.1	3.1	2.5	2.7
	28	学校全体で取り組むべき内容については、特別支援教育コーディネーターや校内サポート会議を活用するなど組織的な取組になるよう努めましたか。	3.1	3.1	2.9	2.8
	29	必要に応じて保護者や関係機関との連携・協力しながら支援が行われていますか。	3.3	3.1	3.1	3.1

(2)グラフ

自己評価 H28/H27



2 分析

- ① 教育目標の領域では、昨年度と同様、もしくはポイントが少し高くなっている。
- ② 学校経営の領域では、NO, 5でポイントが高くなっている。
- ③ 教育課程の領域では、NO, 8と9で高くなっているが、NO, 10で低くなっている。
- ④ 学習指導の領域では、NO, 12と15で高くなっているが、NO, 13と14で低くなっている。
- ⑤ 生徒指導の領域では、全体的にポイントが高くなっているが、NO, 20では低くなっている。
- ⑥ 安全管理の領域では、ポイントは高くなっているが、NO, 23では低くなっている。
- ⑦ 特別支援教育・言語通級の領域では、ほぼ昨年度同様だが、NO, 29では高くなっている。

3 考察

- ① 教育目標の領域では、学校教育の目標、授業のめあてと振り返りを関連づけて指導し児童に達成感を指導してきた。特に今年度は国語科で言語活動の指導を工夫し、ゴールを明示することで学習内容を理解させ、児童の意欲を高めることができた。
挨拶についてはまだ不十分なところがあるので、学校全体での取組や、職員一人一人挨拶への意識が必要である。
- ② 学校経営の領域では、学級、学年、分掌組織等の中で、個々が力を発揮し教育活動を行っている。学校全体での統一指導や学習規律定着への指導が児童の変容に表れてきている。
- ③ 教育課程の領域では、教育計画が有効に機能させていかなければならない。来年度に向けて確認と工夫を行い、再度見直す必要がある。日課については時数確保の面から見直す必要があるかどうか検討の余地がある。
- ④ 学習指導の領域では、基礎・基本の定着や自ら学び考える学習過程の工夫に一定の成果が見られ、学校として研修活動の充実が図られた。一層の学習意欲の向上や基礎・基本の定着のためには、家庭学習の手引きを活用した実効性のある取組と、学校全体での学習規律の徹底と教員一人一人の意識が必要である。読書習慣の確立のために全校一斉朝読書を設定し、一定の成果が表れてきていることが予想される。
- ⑤ 生徒指導の領域では、学級の実態に合わせた指導を行っている。生徒指導交流を効果的に行い、生活部が主体となった動きや問題検討委員会の開催など、必要に応じて組織を機能させることが大切である。
- ⑥ 安全管理の領域では、PTAによる巡視活動や交通安全街頭指導の実施の他、教職員も登下校時の見回りを行っている。それでも地域住民から危ない様子を見かけた等の情報

が寄せられていることから、引き続き巡視活動の強化が必要である。

- ⑦ 特別支援・言語通級の領域では、サポート会議が効果的に機能するためにその位置づけを再考する必要がある。対象児童への個別の支援の充実と支援の共有化という視点での開催と参加が必要である。

4 改善の方向性

- ① 教育目標の領域では、「あいさつ、やさしさ、しんけん、たくましく、それが柏っ子！」の具現化のため、学習面においては、児童が「見通す」学びを「振り返る」場面を設定して学習意欲を高めていく。生活面においては、挨拶がさらにできるように、教職員一人一人が意識していく。運動面では、ラダーハードルの設置や体育の時間での運動量確保の工夫などを推進していく。
- ② 学校経営での領域では、子どもの個性や能力を伸長するため、授業研究、学習指導(学習規律、家庭学習)、生徒指導、各分掌が主体性をさらに発揮しながら、学校全体として具体的な取組を打ち出し、実践と検証を進めていく。
- ③ 教育課程の領域では、基礎・基本が確実に定着するように一単元、一単位時間の指導事項を明確にして指導と評価の一体化を図る。また、復習の時間を確保し、児童が学び直しを行うことができるように工夫する。課題が見られる指導計画については継続、改善をしながら基礎・基本とともに学年に応じた活用力が身に付くように総合的な学習の時間も充実させていく。
- ④ 学習指導の領域では、学習規律、板書、ノート指導を充実させ、児童がわかる、できる授業を継続する。また、自ら学び考える力の育成のために学習過程の「見通し」「振り返る」場面を重点的に指導していく。算数科においてはTTや習熟度別学習を活用し、学習状況に応じたきめ細かな指導を実現していく。さらに、読書活動の充実を図るために朝読書を継続していく。
- ⑤ 生徒指導の領域では、教育活動全体を通して指導の徹底を継続するとともに、生活部が主体となった学校全体の取組の充実や特別委員会の機能化を図っていく。
- ⑥ 安全管理の領域では、校内の安全教育を充実させるとともに、保護者や地域と連携した見守りの活動を活性化を図っていく。
- ⑦ 特別支援教育・言語通級の領域では、支援を要する児童にどのようなサポートができるかを整理し、支援体制を整備していく。また、会議のさらなる機能化について中身を充実させていく。

2 児童アンケートについて

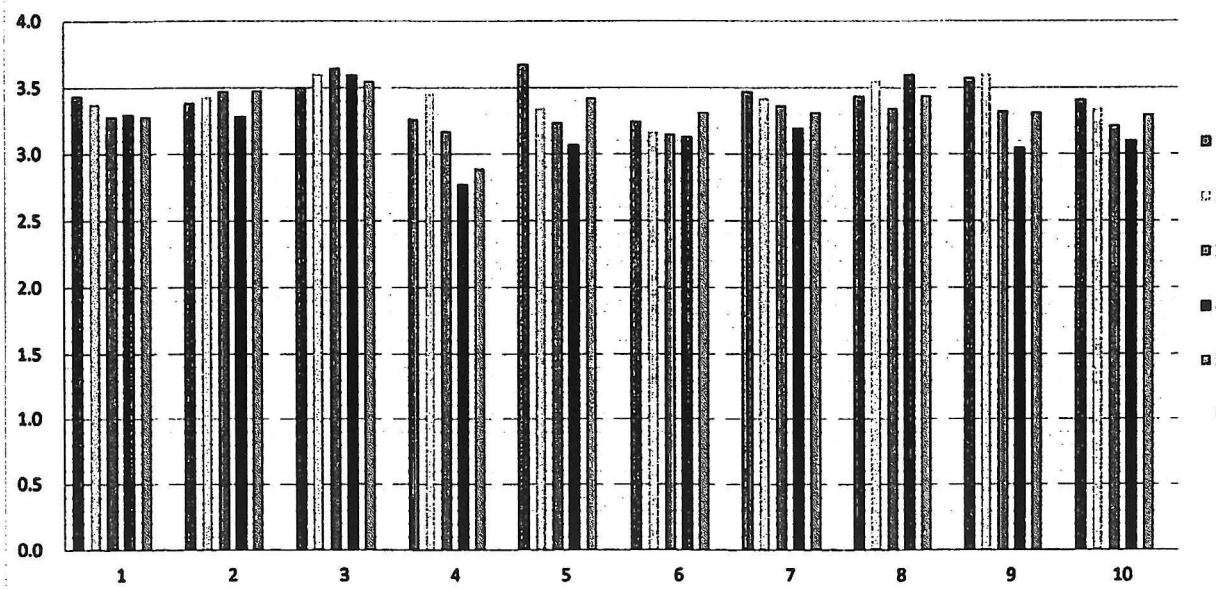
1 集計結果

(1) 一覧

No.	しつもん	学年						平均		
		1	2	3	4	5	6	H28	H27	H26
1	モノゴト、サイゴ 物事を最後までやりぬこうとすることができますか。	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3	3.3
2	いつでも、だれとでも、あいさつができますか。	3.4	3.4	3.5	3.3	3.5	3.2	3.4	3.3	3.2
3	トモ 友だちとなかよくしたり、協力したりすることができますか。	3.5	3.6	3.7	3.6	3.6	3.5	3.6	3.3	3.6
4	コソ 困った時に、先生に相談することができますか。	3.3	3.5	3.2	2.8	2.9	3.2	3.1	3.2	3.1
5	ジュウゴウ、ギョウジ 授業や行事では、めあてをもてがんばることができますか。	3.7	3.3	3.2	3.1	3.4	3.2	3.3	3.3	3.3
6	ジュウゴウ、ジュウゴウ 授業に集中して取り組み、学習内容がわかりますか。	3.2	3.2	3.2	3.1	3.3	3.3	3.2	3.6	3.2
7	リブン、カンゴ、コウドウ 自分で考え、行動することができますか。	3.5	3.4	3.4	3.2	3.3	3.2	3.3	3.1	3.1
8	マイニク、ショウガイ、カタイガクショウ 毎日、宿題や家庭学習をやっていますか。	3.4	3.6	3.3	3.6	3.4	3.6	3.5	3.3	3.3
9	ガクコウ、イニ、スス、カン、ミ 学校や家で、進んで本を読むことができますか。	3.6	3.6	3.3	3.0	3.3	3.0	3.3	3.3	3.0
10	ハヤ、ハヤオ、アサ 早ね・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活に気をつけていますか。	3.4	3.3	3.2	3.1	3.3	3.2	3.2	3.0	3.2

No.	1年	2年	3年	4年	5年	6年	H28平均	H27平均	H26平均
1	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3	3.3
2	3.4	3.4	3.5	3.3	3.5	3.2	3.4	3.3	3.2
3	3.5	3.6	3.7	3.6	3.6	3.5	3.6	3.3	3.6
4	3.3	3.5	3.2	2.8	2.9	3.2	3.1	3.2	3.1
5	3.7	3.3	3.2	3.1	3.4	3.2	3.3	3.3	3.3
6	3.2	3.2	3.2	3.1	3.3	3.3	3.2	3.6	3.2
7	3.5	3.4	3.4	3.2	3.3	3.2	3.3	3.1	3.1
8	3.4	3.6	3.3	3.6	3.4	3.6	3.5	3.3	3.3
9	3.6	3.6	3.3	3.0	3.3	3.0	3.3	3.3	3.0
10	3.4	3.3	3.2	3.1	3.3	3.2	3.2	3.0	3.2

児童アンケート



2 分析

- ①「いつでも、誰とでも、あいさつができる」(設問2)の全校平均値が高くなった。
- ②「友だちと仲良くしたり、協力したりすることができる」(設問3)の全校平均値が大幅に高くなった。
- ③「授業や行事では、めあてをもてがんばることができますか。」(設問6)の全校平均値が大幅に低くなった。

3 改善の方向性

- ①設問4に対して…挨拶や日常の対話を大切にする中で子どもの声に耳を傾け、人間関係の構築に努める。
- ②設問6に対して…「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」をくり返し、ゴールを明確にするとともに、授業構成、教材の研究に努める。

平成28年度学校評価 保護者アンケート

1 回収率

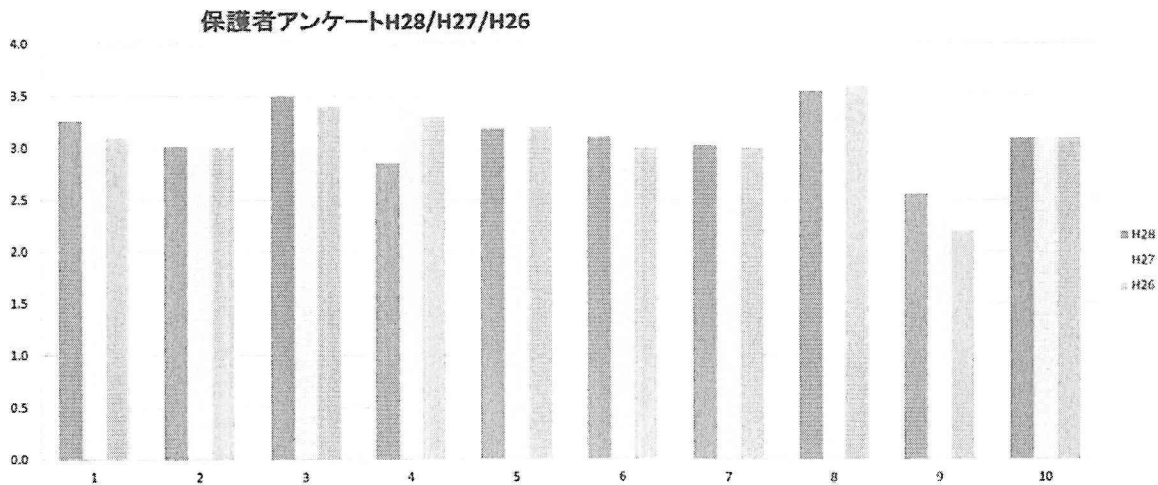
PTA戸数294戸のうち、回答していただいたの181戸(61.5%)です。ご協力ありがとうございました。

2 集計結果

(1) 設問ごとの集計結果の平均(すべて4点満点)

No.	設 問	H28	H27	H26
1	お子さんは、物事を最後までやりぬこうとしている。	3.3	3.1	3.1
2	お子さんは、いつでもだれとでもあいさつができる。	3.0	3.0	3.0
3	お子さんは、友だちとなかよくしたり、協力したりして学校生活を送っている。	3.5	3.0	3.4
4	お子さんは、困ったときに先生に相談することができる。	2.9	3.4	3.3
5	お子さんは、授業や行事で、めあてをもってがんばることができる。	3.2	3.3	3.2
6	お子さんは、学校の授業での学習内容を理解している。	3.1	3.1	3.0
7	お子さんは、自分で考え行動することができる。	3.0	3.0	3.0
8	お子さんは、毎日、宿題や家庭学習を行っている。	3.5	3.4	3.6
9	お子さんは、進んで読書をする習慣が身に付いている。	2.6	2.3	2.2
10	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活に気をつけている。	3.1	3.1	3.1

(2) 過去3年間の経年比較グラフ (H28、27、26)



(3) 集計結果を受けて

アンケートへ回答のご協力、誠にありがとうございました。

集計結果全般では、設問No. 1、3、5、6、8、10では、「4(そう思う)」「3(ややそう思う)」を絞める割合がおよそ8割となっています。

設問No. 4の「困ったときに先生に相談することができる。」は7割弱と課題が見られました。日常的に児童とのコミュニケーションを積極的に図り、いつでも相談しやすい人間関係を作り、「信頼できる」「頼れる」先生となるべく努力するよう取り組んでいきます。

No. 1「物事を最後までやりぬこうとしている。」では0.2ポイント、No. 3「友だちとなかよくしたり、協力して学校生活を送っている」では0.5ポイント、No. 8「毎日宿題や家庭学習を行っている」では0.1ポイント、No. 9「進んで読書をする習慣が身に付いている」では0.3ポイントとの上昇と学校の取組が評価されているものと思います。今年度から全校の取組として始めた朝読書の取組が、読書習慣の定着に効果があったものと思われます。また、「友だちとなかよくしたり、協力して学校生活を送っている」の項目で0.5ポイント上昇しましたが、今後も生徒指導についての交流を図りながら、安心して学校生活を送ることができるように全職員で取り組んでいきます。

平成28年度 学校評価 保護者記述

- ☐わりと、先生達が親切に話を聞いてくれたり、相談事も悩みが減るように努力してくれている、良い学校と思っています。
- ☐いつもありがとうございます。今年度はPTA総会での先生紹介とても良かったです。保護者と担任の先生の距離感をもっと近いものになるといいと思います。お互いが「1年なんで」と思わないような…。

3 ご質問やご意見に対する学校の回答(方向性)

ここでは、アンケートでいただいたご質問やご意見に対しまして、学校としてのおさえをお伝えします。内容や趣旨が類似しているものにつきましては、まとめて回答しています。

- ①子ども一人一人に対してもう少し目を向け、保護者とのコミュニケーションをとってほしい。対応が少し理解しがたい時がある。

回答

子ども一人一人に目を向け、耳を傾けるよう努力したり、学年・学級経営交流会を開きいて勉強をしたりしているところです。それでも至らないことや足りないことがあるかと思ひます。そのようなときは遠慮なさらずに担任、または管理職までに連絡をください。

- ②保護者のマナー違反が気になります。参観日などで子ども達が真剣に先生のお話を聞いている時に、保護者同士のおしゃべりで何も聞こえず…。といった残念な出来事がありました。上の子ども達が通っていた学校では「おしゃべりをしたいのなら、ホールに出て下さい。」と注意されていた方もいました。本来であれば、親自身が気付かなくてはならないことなのですが…。学校側から一言注意をしていただいたら良い方向へ向かっていけるのでは…。と思いました。よろしくお願いします。

回答

参観日でのマナーについては学校だよりや参観日の案内などで呼びかけていきますが、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

- ③父母のPTA活動が全員参加なのに、全く参加せずに終わっている方が多数いると思ひます。これでは今までと何も変わらないと感じます。きちんと参加するようにお願いしたいです！ビックリしました。

回答

PTA活動については、日頃より保護者の皆様のご協力を頂いて進めているところでございます。不公平がないように全員参加という形を取っているところではあります。仕事やご家庭の事情等で、なかなか全員が参加できるということは難しいところです。PTA活動の全ては子どもに還元されますので、これからも積極的な参加を呼びかけていきます。

- ④4～6年生も放課後の親がいない間に居場所となるようなところがあるといいと思ひます。

回答

現在、学童を利用できるのは1～3年生です。これは制度上どうにもできないところでございます。今までも、同じような意見をいただきました。それを関係機関に届けてきた結果、今すぐにではありませんが改善されていく予定となっております。

- ⑤運動会や学芸会の日を天気の関係も含めて土曜日にしてはどうかと思ひます。

回答

運動会については、PTA役員会、PTA総会で保護者の皆様の意見をいただき、来年度より土曜日に実施いたします。土曜開催の理由については、PTA総会、学級懇談会、プリント等でお知らせした通りでございます。学芸会については、運動会のように雨天順延の心配がないため、より多くの保護者の方が見に来られるように日曜日の開催で行います。

- ⑥写真の掲示期間、土曜日にも見られると良いです。平日仕事のある親はなかなか時間内に学校に行くことができません。

回答

PTAや諸活動があるとき以外で土曜日に学校を開けるとことはできません。平日でも、夜まで学校に職員がいることはありますので、連絡をしてから来校していただくことは可能なときもございます。

⑦先生方の勉強や研修など、少し考えてほしいです。本当に子どもに寄り添って考えてくれる先生が少ないと思います。親身になってくれる方ももちろんいます。感謝しています。

回答

学習指導については、校内研修を年15回行うなど授業力向上のために研鑽しています。また、他校の研究会に参加にも積極的に参加し授業改善に努めています。

⑧現在、子どものクラスは35名もおります。旭小に比べて非常に多く不公平を感じています。せめて3クラス編成とならないでしょうか。

回答

国の規定では、1年生は71名で3クラス。2年生以上は81名で3クラスになります。また、美幌町独自の規定で、2年生以上でも71名で3クラスとなります。国や町の規定に則ってクラスの数決められています。

⑨全学年が学校生活を楽しく過ごせるように、いじめのない学校であってほしいです。児童に目を向けて下さい！そして、週休2日制ではなく、土曜日登校日を作ってほしい！学力が下がっているではないですか！

回答

いじめについては、担任がアンテナを高くして、児童の少しの変化にも気が付くように心がけているところです。また、アンケートを実施し、いじめがあると記入した児童には心情を聞き対応しています。土曜日授業については、各市町村で取り決めているところで、美幌小学校独自で行うことはできません。学力低下については、チャレンジテスト等を活用し、基礎・基本の定着を図っているところです。

⑩担任の先生の他にもう一人先生が授業に入り、わからない子どもについてくれたらいいと思うのですがどうでしょうか？TTをたくさん入れると良いと思います。

回答

現在、授業改善推進チームが1～6年生までの国語と算数、町のエデュケーション支援員が4～5年生の算数に入り、できるだけきめ細かく指導できるようにしているところです。

⑪イレギュラーなことがあった時の子どもへの対応、親への対応をしっかりお願いしたいです。

回答

対応が必要なときは、できるだけ担任から電話などで連絡するようにしているところではあります。連絡をしなくても大丈夫と思っても保護の方からは、連絡してほしい…ということもあるかもしれませんので気を付けていきます。そのようなときは、大変申し訳ありませんが、学校まで連絡を下されば幸いです。

⑫スキーとスケートを両方用意するのは、経済的に負担になるのでどちらかにしてほしい。(3件)スキーだけにしてほしい。

回答

この件については、幾度となく頂いたご意見でございます。冬のスポーツに親しむことが主な理由です。美幌のみならず、北海道の小学生は肥満傾向にあることは、新聞等で報じられているところです。冬になるとどうしても家に引きこもりがちになります。少しでも多くの子ども達に冬のスポーツを楽しんでもらい体力向上につながればと思っています。また、スキーとスケートの両方は揃えるのが大変だと言う声も頂いております。体文主催のスキー・スケートリサイクルもご活用いただければ幸いです。

⑬意見をまとめて言う。感想を力が付くとありがたいです。作文を多くしてほしいです。

回答

授業や話し合い活動の場での意見交流、作品発表の場での感想交流等、様々な場面で指導に取り組んでいます。作文については、国語の授業以外でも行事作文など、できるだけ書く機会が持てるように取り組んでいます。

⑭家庭訪問は日程の調整など先生方にとっても保護者にとっても負担が大きいと思います。わざわざ家までお越しいただくなくても、学校で2者面談を行えば充分ではないでしょうか。先生が車で移動しない分、子どもについて話す時間を今より確保できると思います。

回答

家庭訪問は、緊急時に備えて自宅の場所を確認すること、家庭の生活の様子を把握しておくなどの目的で行っています。今のところ指導上必要と考えています。

⑮小学校のホームページを再開してほしい。(4月まであったのに、なぜなくなったのでしょうか?)

回答

学校で管理しているホームページはもともとございません。

⑯昼休み、4～6年生が体育館を使っているが、人数が多くて衝突などの恐れがあり思い切り遊べない現状です。案として①登校～朝自習までの時間②中休み③昼休み で分けて2学年ずつ使用してはどうでしょうか?

回答

朝の時間帯は、学習準備や朝読書に続く時間帯になっていますので、体育館での活動時間にはなりません。現在、2. 中休み(低学年)3. 昼休み(高学年)の約束はおおむね守られていますが、荒天やや冬期間外で遊べないときは、混み合うこともあります。今まで以上に子ども達への注意喚起などをしていきたいと思っています。

⑰明らかに熱があり具合が悪そうな時は早退させていただきたいです。去年のインフルエンザが学校で流行しているときに、休まず学校に来てマスクを外し周りの子にうつしている行動が見られる生徒がいました。学校の中のケガは家庭の事情によってすぐ連絡してほしいです。

回答

◇発熱の場合は家庭に連絡をしていますが、児童の平熱に個人差がありますので、今後は更にご家庭との連絡を密にしたいと考えています。

◇インフルエンザに罹患した場合は学校保健法により出席停止の扱いになり、登校することはできません。カゼの症状がある場合には、マスクをするように各クラスでも呼びかけていきます。

ご家庭でも、朝の健康観察を十分に行い、無理な登校を控えていただきたいと思います。

◇校内で起きたケガについては程度に応じ速やかに連絡いたします。

4 学校関係者評価について

校長が行う学校運営に関して幅広く意見を聞き、必要に応じて助言を求めるため地域の有識者の方々に「学校評議員」をお願いしています。地域の方が学校運営に参画し、「開かれた学校」を推進するためにも有益なことです。

平成29年3月9日に「第3回学校評議員会」が行われ、学校評議員の方々に学校評価を報告しました。その際お聞きした様々な意見をご紹介します。

(1) 学習指導について

- 授業のねらいを明確にして、引き続き学習指導を行ってほしい。
- 体力テストの結果は概ね良い結果が出ているので、引き続き体力向上への取組を継続して行っていただきたい。

(2) 生徒指導について

- 児童の安全面に配慮し、交通安全指導など、校内だけでなく校外での指導についても十分に行ってほしい。

(3) その他

- 児童が、ゲーム等の電子メディアに触れる時間が長いため、保護者への周知をしていると思うが、時間制限を設けるなど対応を期待する。
- 学習はもちろん大切だが、物の考え方や取り組み方など、バランスの取れた人物の育成が大切だと思うので、人格を育てていくことを期待する。